

Weekly Report

創 立：1980年(昭和55年)1月10日
 会 長：稲葉 徹
 幹 事：大嶽 達郎
 クラブ広報委員長：鈴木 健司
 例 会 日：毎週木曜日 PM12:30~
 会 場：ビルドン名古屋



ロータリー：
変化をもたらす

2017~2018年度
国際ロータリーのテーマ
ロータリー：変化をもたらす
(ROTARY: MAKING A
DIFFERENCE)

2017~2018年度
名古屋瑞穂ロータリー
クラブ会長のテーマ
ロータリーの品格を高めよう!

事 務 局：460-0008
 名古屋市中区栄1丁目3-3/AMMNATビル7F
 T E L：052-211-3803
 F A X：052-211-2623
 M A I L：2760_nagoya@mizuho-rc.jp
 U R L：http://www.mizuho-rc.jp/

第1819回例会

～平和と紛争予防/紛争解決月間～
クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2018年2月1日(木) 曇り 第27回

司 会：松田浩孝会場委員
 齊 唱：「君が代」「奉仕の理想」

会長挨拶

稲葉徹会長

皆さんこんにちは。今日から正月気分の1月も終り2月になります。2月初めは毎年私自身大変忙しくなります。といいますが、2月3日は節分、2月4日は立春ということで、節分の日には恵方の神社(本年は南方の笠寺観音)で豆まきをし、立春には伊勢神宮に参拝しているためです。今日はこの「節分」と「立春」についてお話したいと思います。



「節分」はもともと春夏秋冬を区切る節目の日のことで年4回ありましたが、現在は立春の前日のこととされています。節分には年の変わり目にふさわしい多くの行事があります。中でも代表的なものは豆まきで、追儺、鬼やらいという別名もありますが、もとは宮中で大みそかに行われた行事でした。季節の変わり目には邪気(鬼)が生じると考えられ、それを追い払うための行事で、これが暦の上で年の変わり目にあたる節分の行事になったとされています。節分の前日に大豆を一升瓶か三方に入れて神棚に供えます。これを福豆といい当日の日暮れまでに豆を炒ります。夜になったら家中の戸を開け、鬼を追い出すように「鬼は外、福は内」と2回ずつ繰り返しながら豆をまきます。まき終えたら、福を逃がさないように、窓やドアを閉め、その後、それぞれの自分の年齢の数(または数え年の数)だけ豆を食べます。

この豆を「年取豆」といい、一年の無病息災を祈ります。

「立春」は24節気のひとつであり、季節の変わり目の「節分」の翌日2月4日がこの日にあたります。「立春」を迎えると、旧暦では大寒があげて厳しい寒さも徐々に和らぎ、春の気配を感じる頃とされています。しかし、暦の上では春といっても、実際には立春の頃が一年で最も寒い時期です。立春の時には先人は東風が春を運んでくると考えていました。春という言葉の語源には、「張る」、「発する」の意味があるとされています。植物の芽が日ごとにふくらんだり、地面から顔を出したりするように、冬の間にこめていたものがどんどんふくらみ、やがて表面に出てきます。春の気を吸収し活力を高め今年の夢を実現させましょう。

この節分から立春にかけて食べられるものの1つが、節分の日の「恵方巻き」です。丸かぶり寿司とも言われ、最近ではデパートやスーパー、コンビニで大々的に売られるようになりました。この食べ方は、その年の恵方に向かって、太巻の寿司を丸ごとガブリと食べると縁が切れない、福を得るといわれています。皆さん、節分には恵方巻きを恵方に向かって食べ、立春には縁起のよい福茶(結び昆布、梅干しを入れた茶わんにお湯やお茶を注いだもの)を飲んで季節のはじまりに心を整えましょう。

出席報告

鈴木雅登出席委員

会員64名 出席42名(出席計算人数47名)

出席率 76.4% 1月25日は補填により88.5%

ニコボックス

鈴木雅登ニコボックス委員

・遅れて謹賀新年

大村 博三さん

・大阪フィルハーモニー合唱団のオーディションに合格し、9月にライブツィヒの聖トーマス教会でバッハのミサ曲口短調を歌う予定です。平野 好道さん
 ・昨晩は皆既月食、寒空にきれいでした。もう2月です。あと1ヶ月頑張りましょう。森 裕之さん

・私の誕生日にきれいなお花を届けて頂き誠に有難うございました!!
 野崎 洋二さん

・本多さんインニエーションスピーチ、がんばってください。大嶽 達郎さん
 ・本日より2月になります。寒い日が続きますので風邪を引かないようお気をつけ下さい。インフルエンザも大流行のようです。稲葉 徹さん

・1月3日は妻明子の誕生日にきれいなお花をありがとうございました。本日2月1日は私の78才の誕生日です、入会しまして23年に成ります。ありがとうございます。田中 政雄さん

・本多さん、インニエーションスピーチを楽しみにしています。
 関谷 俊征さん

・本日インニエーションスピーチをさせていただきます。本多 誠之さん
 ・スキー同好会の北海道ツアーに行ってきた。湯澤信雄さん、鈴木健司さん、山口さん、鶴田さん、お疲れ様です。往路は名古屋発名古屋経由、そして旭川着のエアーです。松波 恒彦さん

・スキー同好会で札幌テイネハイランドへ行って来ました。行きは大変でしたがスキーは最高でした。松波先生、山口さん、鈴木健司さん、鶴田さん、ありがとうございました。湯澤 信雄さん

1月誕生日おめでとう

田中 政雄さん 本多 誠之さん 松田 浩孝さん
 亀井 直人さん 馬場 将嘉さん 松井 善則さん

委員会・同好会報告

職業奉仕委員会：馬場将嘉さん

2月15日に職場例会を開催します。再来週になりますので、お日にちを間違わないようにお願いします。岐阜県各務原市の航空自衛隊の岐阜基地を見学します。当日の11時、ヒルトンの玄関に集合です。行きと帰りの移動は大型のバスをチャーターします。12時頃に目的地に着く予定です。見学終了は15時30分を予定しています。帰りはヒルトンに17時頃到着予定です。見学の途中で抜けることはできません。また、暖かい格好(ネクタイは無くても良いがジャケットは着用)と歩きやすい靴でお越し下さい。宜しく申し上げます。

カラオケ同好会：近藤茂弘さん

来週は4RC合同例会終了後、20時30分よりカラオケ同好会を開催しますので、ご参加をお願いします。雪の具合では中止になるかもしれませんが、その時はまた連絡したいと思います。宜しく申し上げます。

幹事報告

大嶽達郎幹事

・本日13:40から第8回理事会をヒルトン名古屋4F「梅の間」にて行います。

・本日18:00から長期ビジョン委員会を「楽」にて行います。

・次週2月6日(火)は4RC合同例会(ホストクラブ：名古屋名南RC)を名古屋 Marriott アソシアホテル16F「アイリス」にて行います。

・2月8日(木)は振替により例会変更

私は1969年2月に生まれ、今年で49歳になります。「誠之」という名前を「まさし」と呼ばれたことがあまり無く、大体「まさゆき」と呼ばれます。私の祖父が名付けたそうで、トヨタ自動車の加藤誠之(せいし)さんという方から肖ってこの名前にしましたが、同じ呼び方はよくないだろうということで、上だけ「まさ」と読み変えて付けたと思われます。小学校は、名古屋瑞穂小学校を卒業しました。それまで違うところに住んでいましたが、おそらく父が名古屋瑞穂RCに入る前後に瑞穂区に引越したのではないかと思います。父の遺品整理の折りに名古屋瑞穂RCの写真が色々出てきて、二人兄弟の弟と子供の頃に家族会に参加した時の写真もありました。当時は何も知らずに料理を食べていましたが、まさか今こうしてこの場に参加させていただけるとは夢にも思わず、ご縁を感じるなと思っています。東海中学、東海高校、早稲田大学を卒業し、1992年にトヨタ自動車に入社しました。トヨタ自動車では一貫して広報部に所属し、色々な商品のPRをしたり、海外や新聞やテレビの対応をしていました。また、本社内部の仕事もやっておりました。2016年までトヨタ自動車に在職。1999年に妻の佳子と結婚。結婚式には、高村さんや野崎さん、佐藤さん、泉さん、松井さん、長瀬さん、松波さん、平野さん、岡村さん、近藤さんにご参席頂きました。その節は大変お世話になり、ありがとうございました。今でも無事に結婚生活は続いており、子供が2人、高校3年生と小学校6年生で二人揃って受験勉強に動んでいます。

次に、中日コプログループをご紹介させていただきます。創業者が私の祖父で本多乾二といいます。戦前の拳闘と呼ばれていた頃に祖父がボクシングをやっており、戦後は現役をやめてジムをやりながらボクシングの興行をしたりしていました。実はこのボクシングが大変ご縁になっており、当時トヨタ自動車にボクシング部があったそうで、祖父がそのコーチをしていた時に「うちの会社の掃除をやりませんか」というお誘いを頂いて始めたのが中日コプロという会社です。中日コプログループの今の状況についてですが、中日コプロが今年で60周年を迎えました。会社としては4つあります。(1)中日コプロ、(2)テムズ中日は、中日コプロと同様のビルメンテナンス業の会社です。(3)ホンダロジコムは、中日コプロの数年後に「トヨタの倉庫の管理をやってみませんか」ということでできた会社です。(4)アトラスカーゴサービスは、フォークリフトなどを管理している会社です。それらとは別に、2005年から一宮で特別養護老人ホームも開設し、老人ホームとデイサービスをやっています。来年2つ目の特養がようやくできることになりました。3年前にホールディングスという組織にしてここで全ての株を持ち、あとは全て事業会社としました。皆さんも、もし事業継承でお悩みの方はご相談頂ければ、こうゆうやり方もありますよとご紹介ができるかと思っています。

続きまして、トヨタ自動車で25年勤め、2007年以降からは豊田章男さんと一緒に仕事をする機会に恵まれて、その経験などからお話をさせて頂き、皆さんのお仕事のヒントになるようなことがあれば幸いです。「トヨタは大きな会社で安定してますね」と言われますが、実はそうでも無く相次ぐ危機がありました。広報部は一見華やかそうなどころに見えますが、むしろこの様なピンチを凌ぐ仕事が多くあり、私が在籍した間でも大変な出来事が多々ありました。とりわけ大変だったのが、2009年の赤字転落と、2010年のリコール問題です。2009年にアメリカで家族4人の方が亡くなるという痛ましい事故があり、その事からスタートして、アメリカだけで起こっていた問題がだんだん中国やヨーロッパに飛び火しました。最後にプリウスのブレーキ問題が2010年2月に起こり、グローバルにトヨタの危機がやって来りました。社長会見を4回やりたり、アメリカの公聴会や中国に社長が赴きました。事件自体が収束したのが2011年の2月なのでまる2年危機対応をしました。では、なぜこの時トヨタは失敗したのでしょうか。要因は様々に考えられます。それまでも色々な危機はありましたが、これまでの天災などは違い、トヨタ自動車自体が失敗したということです。また、丁度2009年辺りから台数世界一に近づきましたが、やはり世界一ともなると風当たりは強くなりました。2009年からの危機的状況下には、色々な問題が連続して起こっていました。フロアマットから始まりアクセルペダルの問題や、プリウスのブレーキの問題など、日本だけで起こった問題だったらそうでも無かったのかもしれませんが、それらの問題がグローバルに起こりました。また、原因がトヨタの中でもなかなか分かりませんでした。解明するのに時間がかかったため、説明が遅いとか、まだ何か隠しているのではないかと、ということも言われました。人が亡くなったということも大きかったと思います。情報伝播も早くなりました。その時期丁度、米国で中間選挙があり、政治問題も少し入ってしまったこともあったと思います。

リコール問題の反省は大きく4つありました。①アメリカで起こった事故

はアメリカのローカルな話という様にリスクの感覚が低かったこと。②我々本社の人間が日本にいたので他人事になっていたこと。③メディアからも袋叩きにあいましたが、社内からも会社は一体何を考えているんだと言われ応援してくれる人が全然居なかったこと。④原因判明が難しく情報発信力が欠けていたことです。この反省の対策として、①改めて、まず現場が大切だと考え、何か問題が起こったらとにかく現場に行くということを改めて徹底しました。②他人事には絶対ならないようにしようと意識改革をして、当事者意識を強く持つようにしました。③話をする順番は、まず社内から伝え、社外から伝わることで不安になってしまうことを防ぐこと。社内の人達はトヨタ自動車に対してロイヤリティが高い人が多いので、まず社員を最低限味方にしていくことが大事だと考え、社内に発信してから外に発信するようにしました。④報道が先行してしまったことに関しては、自分達から発信できる時代になったのでWEBやSNSを使って情報を積極的に発信しました。

ここから、豊田章男さんご本人から聞いた話でこれはと思うものをいくつかご紹介したいと思います。(1)「現場が一番近い人が一番偉いんだから、お前が行ってどう思ったかなどをしっかりと報告してくれ」とよく仰っていました。『現地現物の大切さ』、それが最初に学んだことです。(2)「自分の仕事にオーナーシップを持つこと」。ここで言うオーナーシップとは責任感ということです。やはり『当事者意識』を強く持つということだと思います。(3)「バッテリーボックスに立つ」。外から見ると評論家はいらないので、バッテリーボックスに立つ、見送り三振はダメ、とにかくスイングして三振でもいいよということです。(4)「失敗したっていいじゃないか」。この言葉の背景には挑戦してほしいとか、まず何か変えてみてください、ということもありますが、もう一つ大きい意味があったことに気がきました。それは「責任は私が取るよ」ということです。先程お話ししたSNSも挑戦の1つですが、その時も「責任は私が取るからやってみなさい」と仰っていただきました。経営者として責任をとる覚悟を学びました。(5)「社長の仕事は決断すること」。決断という言葉は重い言葉だと思います。前向きな話を決めることは簡単ですが、断つことを決める「決断」は難しく勇気がいることです。実際に近くで仕事をしていた中で、豊田章男さんの決断をいくつか見てきましたが、特に大きな会社になるとやめるのは難しいのではないかと思います。改めて会社を引っ張っていく立場に立ったときに強く考えさせられました。(6)「最高傑作は次回作」。この言葉は、元々チャーリー・チャップリンの言葉を引用したと聞いています。この言葉の裏には、今は成功したとしても次も上手くいくか分からない、という意味も含まれています。トヨタらしいなと思ったことで、改善魂という言葉も使われていましたが、とにかく改善してくれ、成功に甘んじないで次が最高傑作になるように頑張れという意味が込められた言葉です。(7)最後は「継承者は挑戦者」。豊田章男さん自身も、トヨタ自動車の三代目、トヨタグループで見ると4代目で、創業者に対して尊敬の念が大変強い方です。この名古屋瑞穂RCにも、自ら起業された方が多いかと思いますが、その方々のご苦労というのは事業を継承する者よりはるかに大きいと思っています。豊田章男さんも「やはり事業を始めた方々を本当に尊敬しないとイケない」とよく仰り、ご自身も創業者たちを大変尊敬されていましたが同時に、「ただ尊敬して、出来上がったものを守っているだけではだめだよ」と、継承する者の心構えを教えていただきました。守りに入るとやはり衰退する、継承者こそ挑戦しないと事業の発展は無いのだと教えていただきました。最後にこの言葉を頂き、本当に自分に継承できるのかと考えさせられる、本当に重い言葉だと思っています。これが実行できたら祖父や父に対して恩返しにもなりますし、これから会社を発展させていく上で絶対に忘れてはいけないと、肝に銘じてこれからもやって参りたいと思います。

立派な経営者の皆様の前でこのような話は大変失礼かとも思いましたが、皆様にも少しでもお役に立てればと思いますと共に、私自身まだまだひよっ子ですので、ぜひ色々ご指導を頂き皆様のような立派な経営者になりたいと思っております。今後ともどうぞ宜しくお願いします。本日はどうもありがとうございました。



例会のご案内

- 今週の行事 2月6日(火) 4RC合同例会
場 所: 名古屋マリオットアソシアホテル16階「アイリス」
時 間: 18:00~20:00
- 次週 2月8日(木) 振替により例会変更
- 次々週行事 2月15日(木) 職場例会
場 所: 航空自衛隊岐阜基地